

デジタルアーカイブにおける地域 文化遺産の伝承に関する研究

高遠石工のデジタルアーカイブ

デジタルアーカイブ専攻4年 2020415010 久保田若葉

高遠石工とは

江戸時代、信州高遠を拠点に全国で活躍した、石材加工の職人集団のこと。

主に手彫りによる石の加工技術が特徴的。

全国各地に、石仏、石鳥居、石橋、供養塔など数多くの石造物を造った。

江戸時代、民間信仰が盛んになった風潮の中で、寺社の建築、石造物の造立も活性化した。

石造物の需要が増したことで高遠の石工は各地に出向いて働くようになり、優れた技術が各地で評価された。

高遠石工の名が全国を轟かせたことで、高遠石工がブランド化した。ブランド化したことによって、石工の活動もさらに盛んとなり、全国各地で数多くの作品を残すこととなった。



現状と課題



現状と課題

1. 石工技術を持った職人の高齢化、人材不足

→ 専門家や職人の高齢化、後継者不足により、技術の伝承が途絶えてしまい、石工技術継承の危機に陥る。

2. 高遠石工の文化遺産に対する、若者の興味関心が低い

→ 伝統的な技術やノウハウの継承が困難になる。

3. 石造物は観光資源、人文資源として価値がある。

→石造物を観光資源として活用することにより、魅力ある地域づくりが可能になり、高遠町はもちろんのこと、全国各地の地域社会の活性化に繋がる。



高遠石工の足跡

全国18都府県

長野県、山梨県、静岡県、神奈川県、東京都、新潟県、福島県、山形県、青森県、群馬県、
栃木県、埼玉県、茨城県、愛知県、岐阜県、三重県、兵庫県、山口県

高遠藩による他国への出稼ぎが奨励され、全国各地に
高遠石工が出向き活躍。

長野県内だけでなく、各地
に高遠石工が携わった石造物が存在する。

⇒そのため、観光資源として価値があり、今後
さらに注目されるべき文化財である。



高遠町民には高遠石工が十分周知されている。

⇒しかし、高遠町は桜の名所として認知されているため、高遠石工の存在が桜に埋もれてしまっていることが問題点だと考えられる。

高遠の文化遺産に対する人々の関心、認知を高めるために、高遠石工の歴史や文化的な背景を説明し、その価値を明確にすることが大切であると考える。

そして、高遠町の特色や文化遺産との関連性を強調し、遺産が地域の歴史や文化と深く結びついていることを伝えることにより、地域住民のアイデンティティや誇りを引き出し、さらに価値を高められる。

高遠石工の存在を知ってもらうことにより、観光資源として活用でき、さらに観光客が増加することで地域振興に繋がられる。



目的

高遠石工の石材加工技術者の高齢化、後継者不足により技術継承が途絶えることが危惧される。そこで、伊那市の地域文化遺産である高遠石工の技術の継承と、地域資源への興味喚起のために、高遠石工のデジタルアーカイブ化を行う。

研究内容(今後やること)

○守屋貞治・^{しづやとうべえ}渋谷藤兵衛の石仏デジタルアーカイブ

○歴史

- ・石工の誕生、石仏の造立の背景
- ・高遠石工が手掛けた石造物の良さとは(他の石工との比較)
- ・産業としての石工の仕事の位置づけ

○特徴・魅力

- ・高遠石工ならではの石仏表現法や技法

○技術が今にどう生かされているのか

守屋貞治とは

数多くいた高遠石工の中でも、高い技術を持った稀代の名工と呼ばれる石仏師。

石仏の制作を専門としており、生涯において336体に及ぶ作品を残している。

守屋家は祖父・貞七の代から石工を生業としている。そのため、貞治も自然と石工を志すようになった。

造形や技法は、祖父と父から影響されていると考えられる。

貞治仏の技法と表現法

1. 口元円形微笑型

・口元円形→人が笑うとほうれい線が丸くなる様子を表す。

特徴→石仏の口を中央にして、鼻の付け根と下あごを外周とする円形に彫りくぼめた形態を形成した上で、その中に口と円形凸型の下あごを表現する。

2. れんげざかべん蓮華座花卉巻き返し表現

石仏を豪華に魅せたり、重量感を持たせたる技法。

特徴→蓮華座の花弁が裏側に巻き返し状になっている。



和泉石工と高遠石工



参考資料

○おいでな伊那

[おいでな伊那 一般社団法人伊那市観光協会公式サイト \(inashi-kankoukyoukai.jp\)](http://inashi-kankoukyoukai.jp)

○伊那市公式HP

[伊那市公式ホームページ \(inacity.jp\)](http://inacity.jp)

○長野伊那観光局

[高遠石工の活躍した時代背景 | 長野伊那谷観光局 \(inadanikankou.jp\)](http://inadanikankou.jp)

○田中清文(2022).『高遠石工を訪ねて』.星雲社